

みんなで創ろう！「だんだん原っぱ」



テーマ 「この街で子どもを育てたい」と感じる団地へ

沖縄県などの合計特殊出生率の高いエリアを調査すると、その曖昧な「境界感覚」に驚く。住宅の縁側では、近所の主婦たちが家主不在でも座ってお茶を飲んでいるし、街角店先では昼間から高齢者たちが将棋を指している。周辺ではチビっ子たちが追いかけて遊んでいるのだが、自転車を乗り倒して走り出すと、すかさず将棋老人が「自転車はキチンと並べろ！」と怒鳴りつけたりしているし、子どもたちもビビりながらそれに従っている。

このような地域における人間関係を垣間見ると、プライベートとパブリックのエリア境界が曖昧であることが、「地域子育て」を促進していると言えるのかもしれない。

団地の境界をほくし、団地のコミュニティ空間を再編する

団地の空間構造を再考することで、次世代に残せる最良の人間関係を育てる「苗床」を創造したい。住宅の縁側や街角の溜まり場と同じような人と人の繋がりを、左近山団地の外部空間に期待している。ひとりでも多くの方々に、「この団地に住んで子育てしたい」と思われるような団地となることを目指している。

分析 地形に素直な団地



古地図や地形図の変遷からは、左近山団地が**既存の地形を活かして計画**されていることがわかる。東西方向の勾配に手を加えず、**住棟の配置を工夫**している。結果、**棟の裏面**が集まるエリアは高低差を含んでいることが多く、バルコニーへ視線が向かない特性と地形差を活かした**コミュニティスペース**となっている。地形に素直に誘導された機能の配置は、この場所の特性と言える



- ① **緩やかな斜面の広場**
緩い斜面に広がる大きな広場に遊具やテーブルなどが置かれており、子ども連れのお母さん連で賑わう
- ② **棟の間の擁壁**
棟の間の細い隙間には、1m~1.5mほどの高低差がある。通りやすい場所と通りづらい環境がある
- ③ **地形のすべり台**
使いにくい急な高低差を逆手にとり、子ども達ののびのびと遊べるすべり台つきの公園としている
- ④ **急斜面の散策路**
すべり台の奥は緑豊かな散策路となっており、静かに憩うことができるベンチなどが用意されている
- ⑤ **南側庭の段差**
南北方向の緩い地形は、ベランダ側のプライバシーを配慮する段差として活用されている
- ⑥ **棟の隙間の自転車置場**
高低差やバルコニーへの視線が向かない特性を活かした自転車置き場

提案 地形を活かした階段状の原っぱ

2mの高低差→20cm×10段

2m程の高低差を、20cmの段差をつけた原っぱを棚田状に連続させ、「だんだん原っぱ」を創出する。

プールを活かしたピオトープ

プールはその構造躯体（防水層等）を利用して、自然観察用ピオトープ「しぜん原っぱ」とする

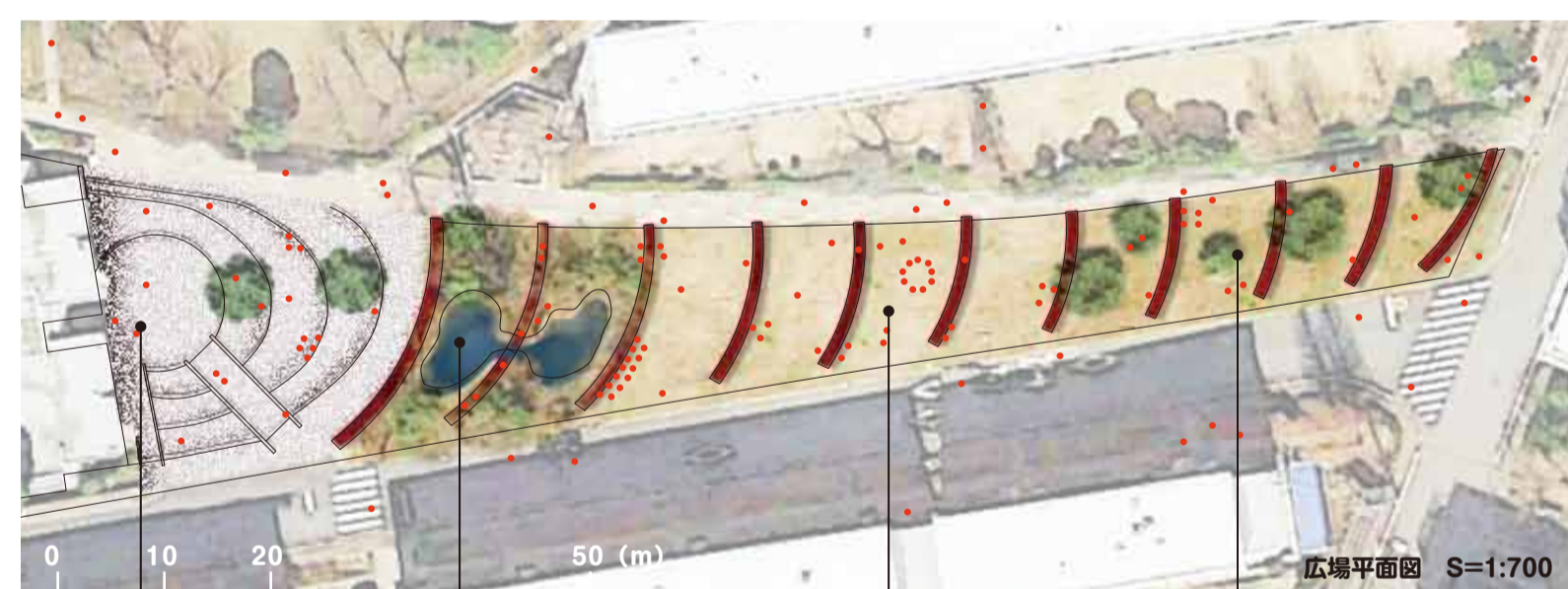
夜間の照明

縁側ベンチには照明が仕込まれており、夜の広場を幻想的な空間にし、防犯に考慮する

縁側ベンチ

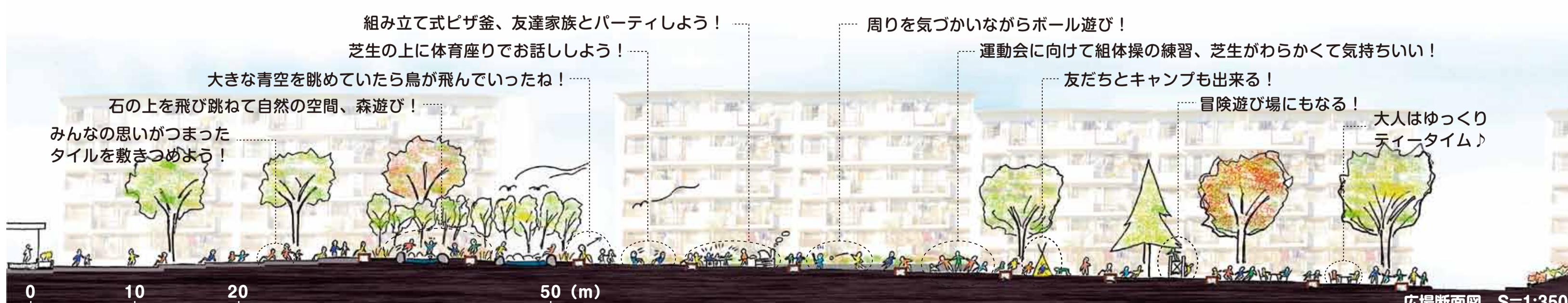
レンガの蓄熱で冬は暖かい
テーブルのようにもなる奥行き
20cmの段差と40cmの段差がをもち縁側。子どもと大人の身体スケールの違いや、1mの幅のベンチではおむつを替えたりなどといったテーブルのようにも利用可能

S=1:30



- お祭り広場**
「納涼祭」など団地内イベントの出来る広場
- しぜん原っぱ**
自然観察の出来る「雑木林」と「ピオトープ」
- おひさま原っぱ**
太陽の光を楽しむ明るい原っぱ
- こかけ原っぱ**
既存樹木を活かした木陰のある原っぱ

項目	内容	量	価格	予算書
1	樹木含む	一式	¥200,000	
2	土木工事費	歩道勾配調整含む	¥1,200,000	
3	排水工事	汚水工事を除く	¥1,800,000	
4	施設工事	「縁側ベンチ」含む (12m 23m×11箇所=187m)	¥16,500,000	
5	電気工事	「縁側ベンチ」照明、引き込み、電気	¥4,300,000	
6	植栽工事	「おひさま広場 (625)」、「遊歩帯 (歩道) (260)」含む (885㎡)	¥11,000,000	
7	石積み工事	「しぜん原っぱ (ピオトープ)」含む	¥3,500,000	
8	植栽工事	「しぜん原っぱ (ピオトープ)」、「だんだん原っぱ (芝生)」既存樹木調整含む	¥3,500,000	
9	総経費		¥2,500,000	
			計	¥45,100,000
			計×消費税10%	¥49,610,000



① 外部空間改善の考え方

1) コミュニティと空間の関係の再編

<階段コミュニティ>

階段室を出た住棟北側の一面に、小さな立ち話の出来る広場空間を設ける。階段コミュニティの協議によってDIY改修可能とする。

<コミュニティ・ガーデン>

日当たりの良い遊び場であると共に、同じ住棟の住民が中心となる交流の場でもある。住棟毎に住民が話し合うことで、その特徴的なデザインが決める。一階バルコニー前には3m程度の常緑植栽による目隠しの配慮を施す。

<住棟間コミュニティ>

建物の妻壁と妻壁の間の空間に複数の棟の住民の交流広場が創られる。妻側1Fに設けられるコミュニティ・サポート・スペース、デッキ等と一体的な広場となる。

2) 原地形と空間利用の関係の再編

<階段広場>

住棟の妻側に発生している段差を部分的に改修し、傾斜の上部と下部の住民の交流を促す小さな広場を創出する。

<コミュニティ緑地(雑木林)>

三角緑地(U.R)は、数本の老木伐採や若木の整枝剪定でより健康的な樹林環境を整備する。伐採樹幹は、団地内のストリートファニチャーとして再利用する。

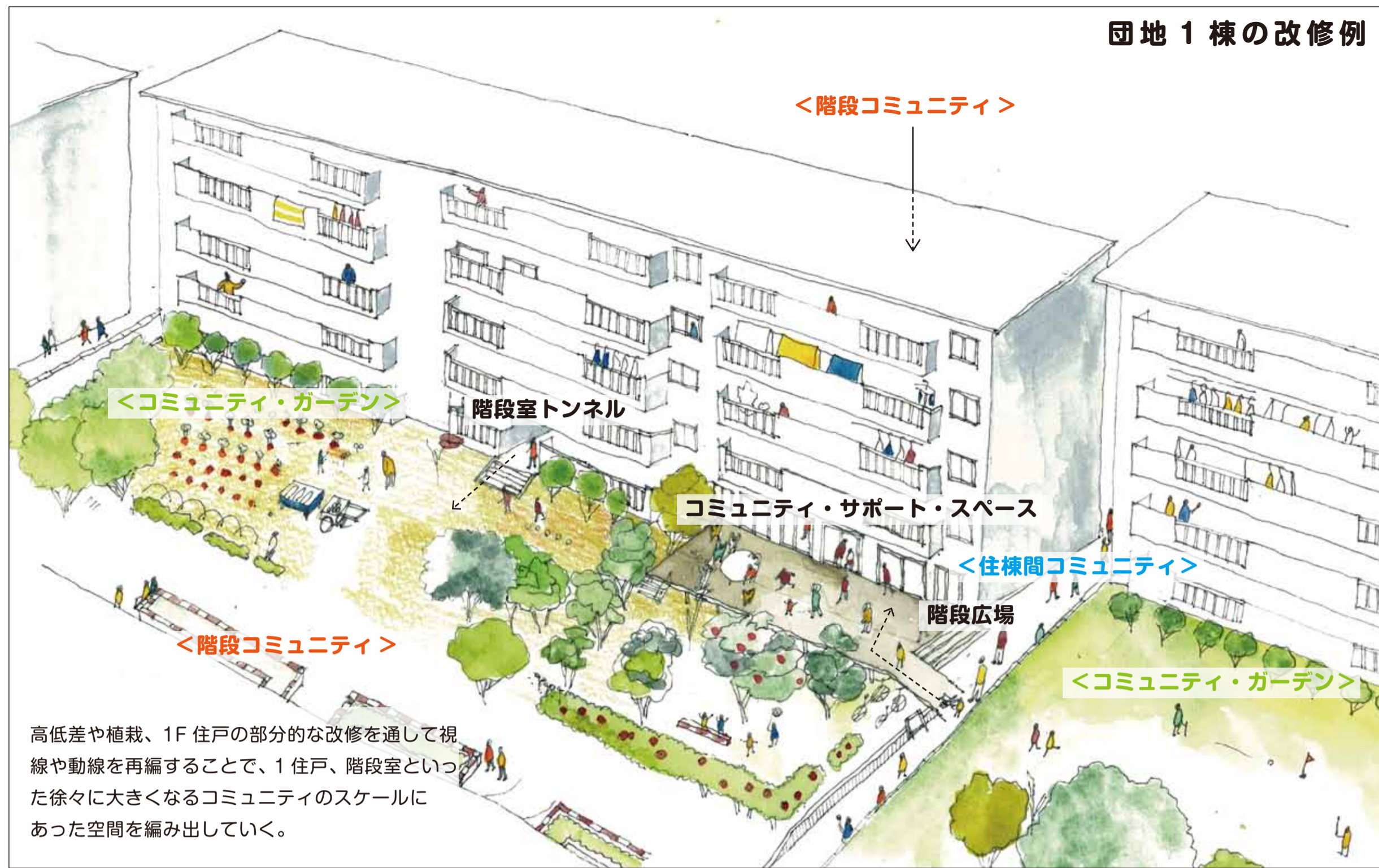
<冒険遊び場>

西側の傾斜面は自然遊びの出来る場所とする。

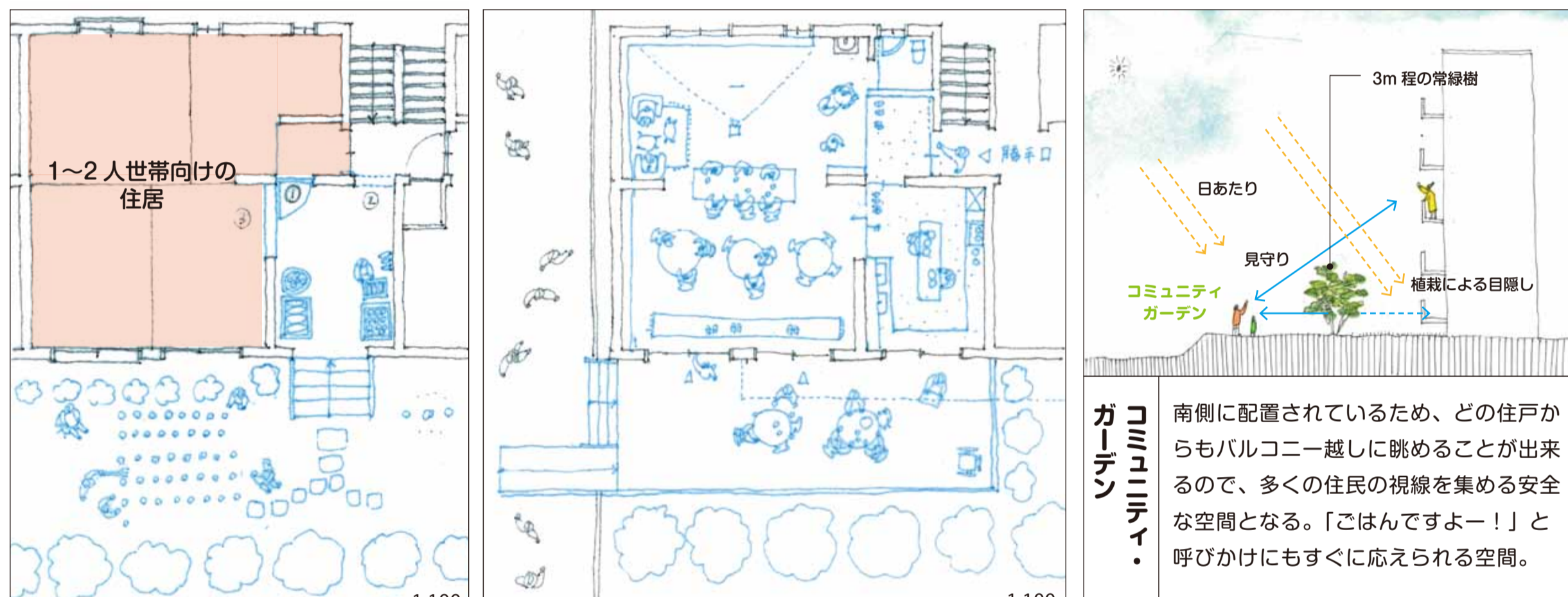
3) 日常と非日常の関係の再編

<ガーデンツアー>

「コミュニティ・ガーデン」を訪問する「ガーデン鑑賞ツアー」やスポーツコースを回遊する「ターゲットゴルフ」大会等を開催する。



高低差や植栽、1F住戸の部分的な改修を通して視線や動線を再編することで、1住戸、階段室といった徐々に大きくなるコミュニティのスケールにあった空間を編み出していく。



南側に配置されているため、どの住戸からもバルコニー越しに眺めることが出来るので、多くの住民の視線を集める安全な空間となる。「こはんですよー!」と呼びかけにもすぐに応えられる空間。

高層階(3~5階)に居住している高齢者を優先的に低層階(1~2階)に引越すことを団地全体でサポートする。

② 空き家活用のイメージ

<地域マネージメント・システム>

高層階に居住している高齢者を優先的に低層階に引越すことを団地全体でサポートする。地元の不動産業者と協働で「地域マネージメント」会社を創設し、住民が主体となって管理する。

<団地内シェアリアカー+屋台>

団地の外部空間を様々な形で使うために、数台のシェア屋台を整備する。屋台は広場で使うピザ釜にもなれば、引越しをサポートするリアカーにもなる。

<コミュニティ・サポート・スペース>

1階妻側をマネージメントを通して借り上げ、「コミュニティ・サポート・スペース」(子育て支援施設、カフェ、ギャラリー等)に改築する。南側バルコニー手摺を撤去し、外部地盤よりウッドデッキ等にアクセス可能とする。

<階段室トンネル>

長スパン住棟の中央部の一階住戸の間取りを変更(減築)することで、南側の「コミュニティ・ガーデン」へ通じる動線を確保する。一階の住戸を高齢者優先とすることで減築を進める。

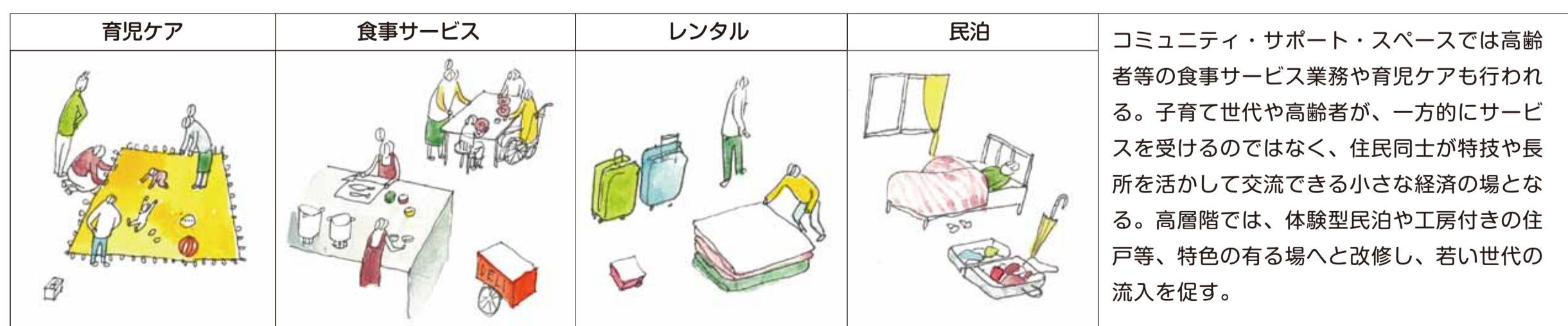
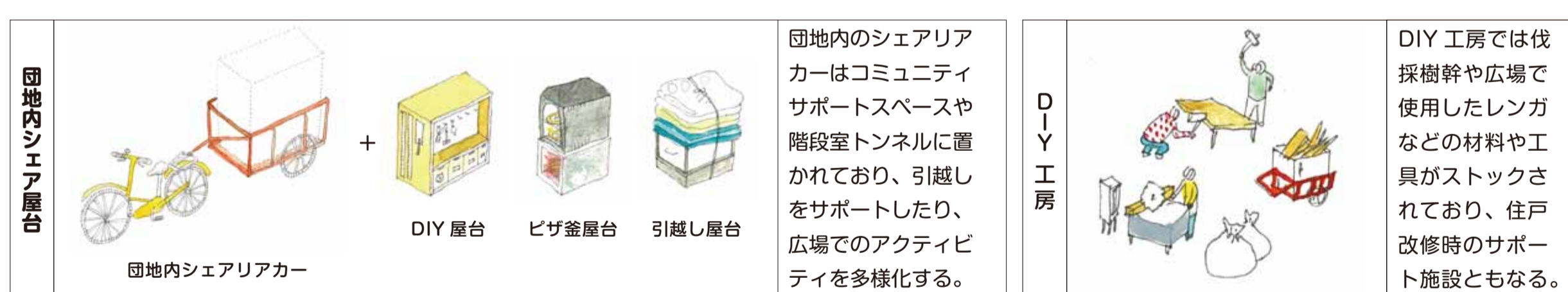
<高層階の使い方>

高台からの風景体験を活かした「体験型民泊」、「学生シェアハウス」、「工房(家具職人)」等を計画する。

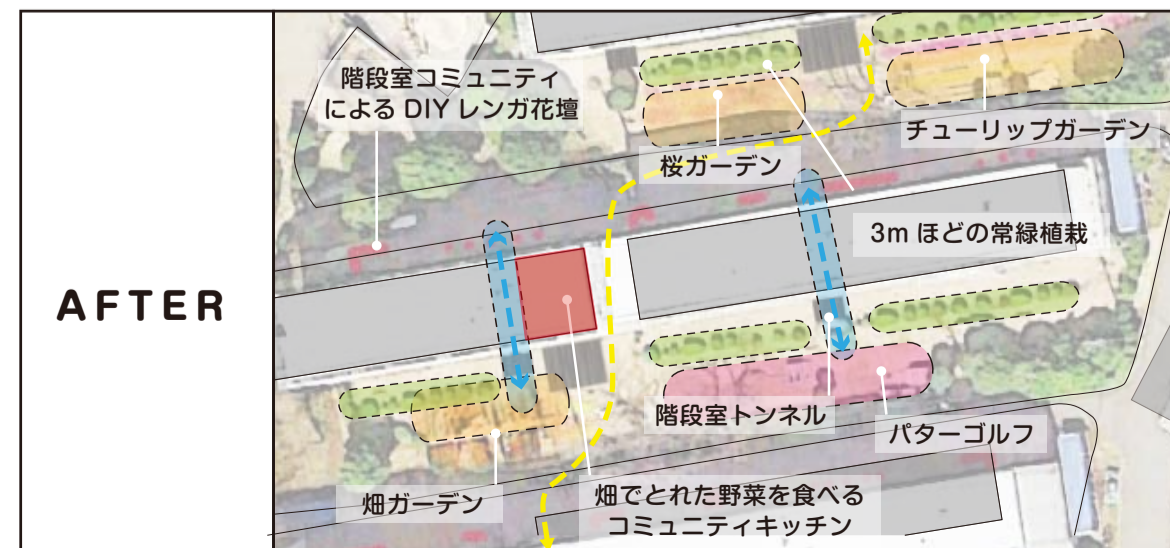
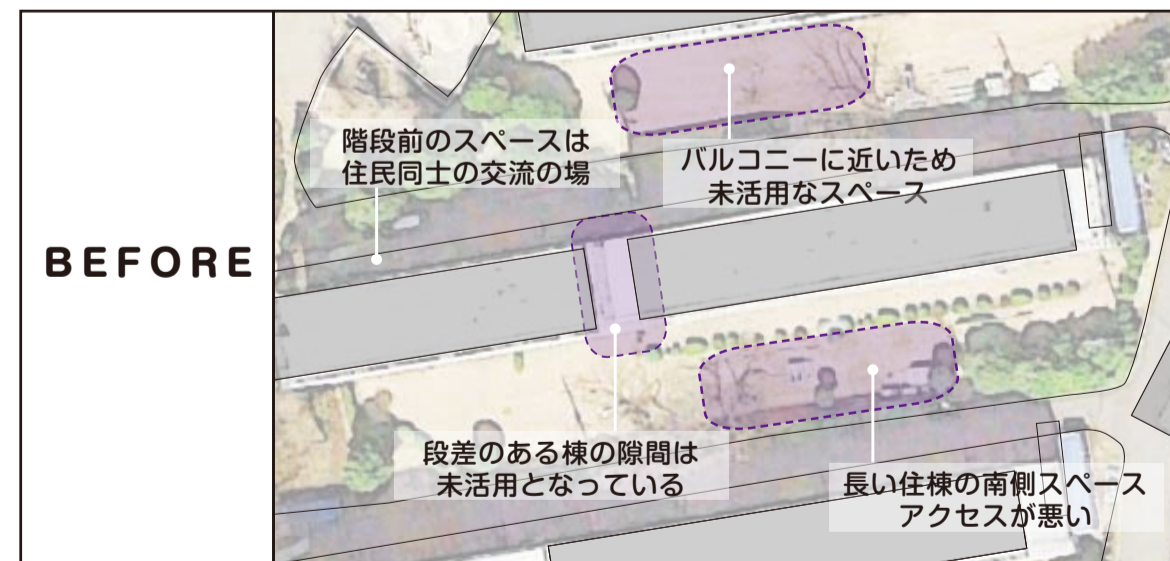
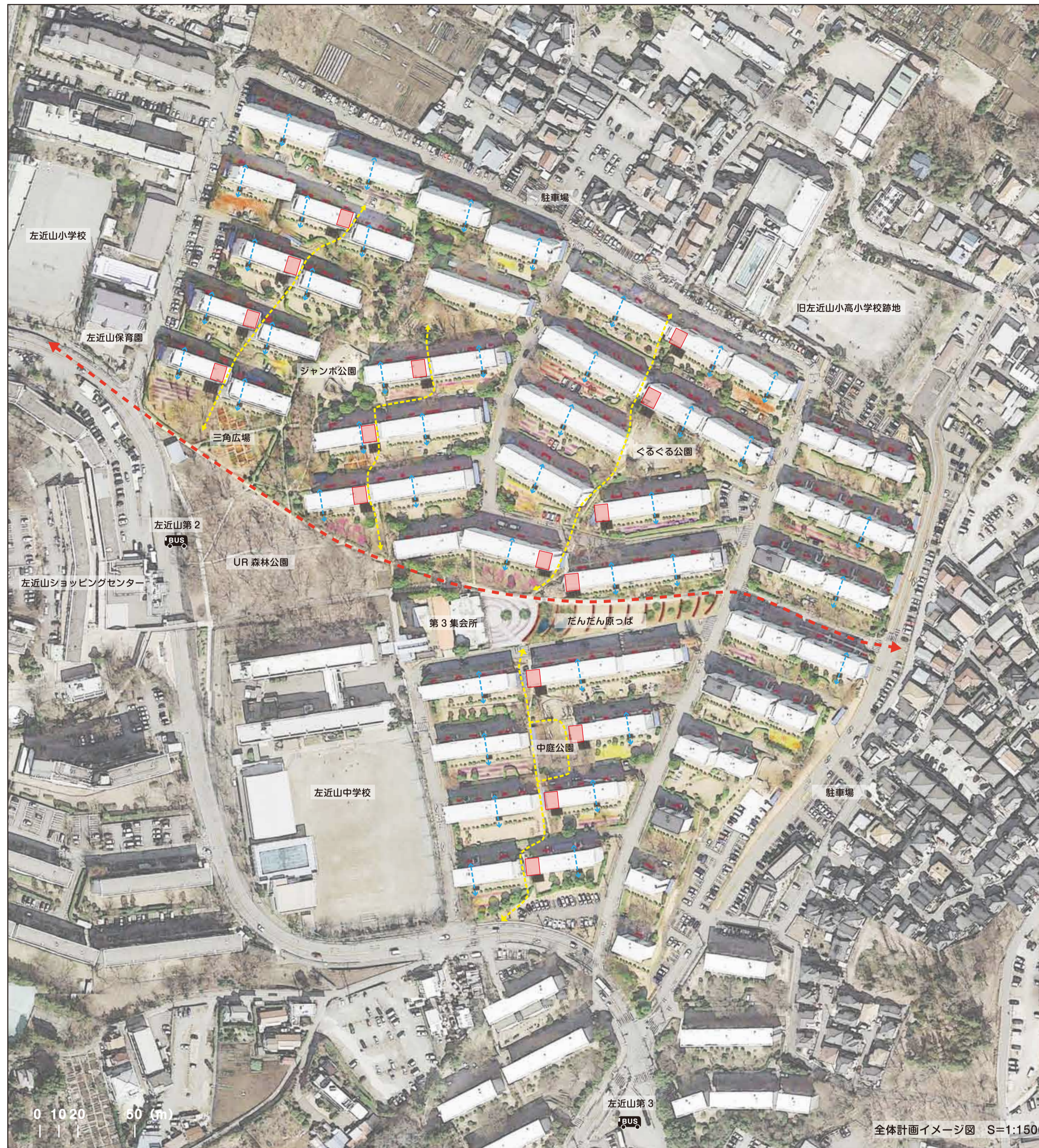
階段室トンネル
①新しい住戸アクセス、②壁の撤去、③壁の新設をし、1~2暮らしでは持て余す住戸を減築し、階段室からコミュニティスペースへと通じるトンネルを設ける。

コミュニティ・サポート・スペース
南側テラスからのアクセスとし、北側は勝手口とする。多世代な住民の溜まり場とすることで、世代を超えて育児や子どもの進路等の悩みが相談出来、住民同士の集いの拠点となる。

住棟マネージメント
3-4
1-2
高層階(3~5階)に居住している高齢者を優先的に低層階(1~2階)に引越すことを団地全体でサポートする。



団地1棟の改修例



←→	団地軸	団地内の主要な歩行路。バス停へ通じる道であり、左近山小学校への通学路でもあるため人通りが多い。小学校統合により、周辺住民の利用も増えている。
↔	すきまこみち	棟の間の隙間を抜けていく小道。団地軸から一本入った生活に、より近い動線。棟の隙間では1~1.5mほどの段差を活かし、コミュニティサポートスペースと一体的な広場となっている。
↔	階段室トンネル	長い住棟の真ん中あたりの1F住戸の間取りを小さくし、北側からコミュニティガーデンへと通じる動線をつくる。アクセスが悪かった南側の庭への近道となる。
■	コミュニティサポートスペース	すきまこみちに面した低い方の棟の妻側住戸を改修したスペース。コミュニティをサポートするためのキッチンや託児所、DIY工房などが入る。
■	デッキスペース	コミュニティサポートスペースのアクセスとなり、庭へと開けたテラスともなる屋外スペース。太陽のあたる南側、車いすや団地屋台のアクセスポイントともなる。
■	DIYによるレンガ花壇	階段室の前のスペースは、階段コミュニティの協議によってDIY改修可能とする。たんたん広場のレンガのストックを利用し、花壇等が設けられる。